

# わどまり

# 議会だより



発行 平成23年10月25日 鹿児島県和泊町議会

編集 議会報編集委員会 〒891-9192 鹿児島県大島郡和泊町和泊10番地 TEL 0997-92-2569 FAX 0997-92-3176

ホームページ <http://www.town.wadomari.lg.jp/>



第15回 子ども議会議員（平成23年8月2日）

## 第113号

### 主な内容

可決された議案事項	2
一般質問等	5
先進事例に学ぶ	10
子ども議会	12

### 町の人口

平成23年10月1日現在

男性	3,498人
女性	3,602人
合計	7,100人
世帯数	3,218戸

# 採択の陳情

## 可決された

### 議案事項

平成23年第3回定例会は、9月13日から28日までの16日間にわたって開催され、上程された議案や陳情の一部を除き決議しました。

## 条例

●**税条例の一部改正（専決）**  
地方税法の一部改正に伴う改正。

●**定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の制定**  
定住促進を図り、地域の活性化を推進するため。

●**社会体育指導委員会条例及び和泊町スポーツ振興審議会設置条例の一部改正**  
スポーツ振興法の全部改正に伴う改正。

## 予算

●**平成23年度和泊町一般会計補正予算（第3号）**

ごみ処理施設交付税公債費知名町負担金、基地周辺対策整備費、障害者自立支援医療費、離島振興大会（仮称）に伴う議会棟改修工事費の増額等の予算措置で歳入歳出それぞれ178,195千円追加し、予算の総額は6,090,083千円。  
（白百合土地改良区運営補助費の修正可決）  
※議場退席議員  
宮田裕雄、豊枝敏勝、泉 秀樹（3名）

●**採決賛成議員**  
前田 力、福山峯之、盛 泰夫、山下幸秀、伊集院徳二、赤山俊彦、谷山健一郎、永野利則、平 勝美（9名）  
和 正巳議員は議長のため採決に加わっていません。

●**平成23年度和泊町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）**  
保険給付費、後期高齢者支援金等、保健事業費、諸支出金の増額等の予算

措置で歳入歳出それぞれ24,484千円追加し、予算の総額は1,070,545千円。

●**平成23年度和泊町介護保険特別会計補正予算（第1号）**  
保険給付費、総務費、諸

支出金の増額等の予算措置で歳入歳出それぞれ10,965千円追加し、予算の総額は810,047千円。

●**平成23年度和泊町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）**  
保健事業費等の予算措置で歳入歳出それぞれ1,625千円追加し、予算の総額は71,710千円。

●**平成23年度和泊町下水道事業特別会計補正予算（第1号）**  
需用費等の予算措置で歳入歳出それぞれ620千円追加し、予算の総額は235,562千円。

●**平成23年度和泊町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）**  
町単独工事費等の予算措置で歳入歳出それぞれ3,920千円追加し、予算の総額は261,913千円。

●**平成23年度和泊町水道事業会計補正予算（第1号）**  
緊急雇用創出事業臨時特別基金事業（未利用資源循環有効活用事業）の導入による予算措置で歳入歳出それぞれ2,509千円追加し、予算の総額は214,631千円。

## その他

●**物品購入契約の締結**

トラックタンカー架装車（農薬廃液回収専用）10,230,150円の売買契約。

●**和泊町教育委員会委員の任命**

任期満了に伴う任命同意  
川邊裕子氏 満62歳  
（手々知名）

# 議員定数削減

## 採択された陳情

● 川内原発増設計画の中止などを求める意見書の採択について

● 「町有財産払い下げについて」の要望書について

● 和泊町議会の議員定数削減を求める陳情書について

※採決反対議員

和 正巳、豊枝敏勝(2名)

採決賛成議員

福山峯之、宮田裕雄、

盛 泰夫、山下幸秀、

伊集院徳二、赤山俊彦、

谷山健一郎、永野利則、

泉 秀樹、平 勝美(10名)

前田 力議員は議長のため採決に加わっていません。

● TPP交渉参加阻止に関する陳情書について

## 意見書(議員提出含む)

● 川内原発増設計画の中止などを求める意見書

● 「離島振興法」の改正・

延長を求める意見書

● TPP交渉参加阻止に関する意見書

## 第1回臨時議会

会開・平成23年7月12日

可決された議案

● 財産管理調査特別委員会設置に関する決議について

## 第2回臨時議会

会開・平成23年8月9日

可決された議案

● 財産管理調査特別委員会廃止に関する決議について



## 監査報告

(和泊町代表監査委員 上原 清)

● 各会計決算審査意見要約

8月8日決算審査講評後、

議選監査委員より平成23年

2月と3月に不正な公印使

用があったと言う報告を受

け、再調査を行った。伊地

知町政の大胆な権限の下で

保健福祉課等の活性化のき

ざしが見えると講評した直

後の事であった。2回の公

印盗用が勤務時間中にあり、

職員1人も気づいていない

と言う事態は言語道断の事

態である。しかも町政の中

枢機関で起きたとなれば伊

地知町政の存命にかかわる

問題である。公印規定や文

書規定が順守されず、見直

しもされていないとすれば

町長の分身として努めるべ

き立場の人たちの怠慢は単

に内部処分済まされる問

題でない。町長の大胆な人

事刷新を望む。なお、財政

全体としては経常収支比率

が3年ぶりに90%台を切り

実質公債比率も14%台に

入った。投資的経費の捻出

は依然として厳しい状況下

にあるが、年度末の臨時補

助事業に土木課を中心に各

課知恵を絞った面が見える。

● 水道会計決算審査意見要約

本年度純利益は前年度比

6,799千円の減となっ

ている。人件費については、

毎年の給与改定や人事異動

に伴う給与格付けの差に

よって増減する。平成22年

度は職員数が対前年度1名

減となり、人件費の減に比

して一人あたりの営業収益

は増となっている。職員の

専門的能力を生かし、さら

なる労働生産性の向上に努

めていただきたい。

一日あたりの平均配水量

は、2,510m<sup>3</sup>(前年度

2,545m<sup>3</sup>)である。こ

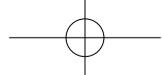
の結果、施設利用時状況

の良否を総合的に表示す

る施設利用率は年々低下

傾向となっている。第7

次拡張事業により配水能



力も4,185<sup>3</sup>mから5,000<sup>3</sup>mへ増強され施設利用に余裕ができています。平成22年度期末の資産総額は2,454,753千円となっている。また、平成22年度の未収金は、年度末で35,061千円（未収補助金12,203千円を含む）となつている。企業債については、前年度末残高1,693,109千円であり、本年度償還高は10,698千円で、差し引き年度末残高は1,682,410千円となっている。企業債の償還額が増加する見通しの中、収益力も低下傾向にあり経営安定へ向けさらなる努力が求められる。第7次拡張事業で後蘭浄水場一式工事等を行っている。また、直営工事として配・給水管敷替え工事をそれぞれ実施し施設の増強を図っている。今後とも、収益率の向上に努めると共に、健全な運営と安定した水の供給及び水質改善等長期的な展望に立つて建設改

良に取り組んでいただきたい。

収益力については料金値上げにより好転した時期もあったが、配水量そのものが減少傾向にある為、厳しさが増しつつある。加えて石灰処理の課題も有り、硬度低減化の効果はなかなか見えてこない。

●財政健全化審査意見書

普通会計における健全化比率は特に問題なし。実質公債比率は単年度14.44%で3カ年平均でも14.9%と15%を切った。標準財政規模が増大した事により、将来負担比率も147.2%から109.3%と改善された。他方で地方債や負担金の増加を抑えた事が好結果を生んでいる。

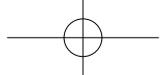
# 10月10日 豪雨災害にて 被災された方々 にお見舞い申し上げます。

## 和泊町議会議長

前田 力

## 議会議員

和 正巳、福山峯之、宮田裕雄、盛 泰夫、豊枝敏勝、山下幸秀、伊集院徳二、赤山俊彦、谷山健一郎、永野利則、泉 秀樹、平 勝美



# 一般質問

## 町民に代わって行政を問う

平成23年(6月)第2回議会定例会

### TRANSPORT 通学路の整備について



泉 秀樹議員

質問1 現在における国の対応はどのようになっているか。

答弁 国は8月に、TPPに参加するかどうかは、「食と農林漁業の再生実現会議の中間提言で示した諸課題をクリアし、なおかつ国民の理解と財源確保等々を含めて検討していく」ことを閣議決定している。また、6月の基本方針決定、10月の行動計画策定に代わる新たな工程を、日本再生全体のスケジュールや復旧・復興の進捗状況を踏まえ、検討するとしている。

質問2 県・郡内市町村、及び本町はどのような対策を引き続き要請しているか。

答弁 県においては、これまで同様TPP協定への参加については、本県の基幹産業である農業をはじめ、地域経済への大きな影響が懸念されることから、拙速な判断をせず、国会において十分審議するなど、国民の合意が得られるまで時間をかけて検討されることが重要であり、知事も「賛成の余地はない」と表明している。大島郡町村会も含めた鹿児島県町村会も、農林漁業と農山漁村の再生の実現を優先すべきであり、TPPへの参加に反対することを決議している。和泊町としても今後とも引き続き関係機関と連携し、TPPへの参加に対し反対している考えである。

### TRANSPORT 通学路の整備について

質問 町内の通学路で交通事故が発生している。歩道の設置等、交通安全対策にどのように取り組んでいくか。

答弁 本町の道路整備については、平成22年3月に策定した第5次和泊町総合振興計画に基づいて、「安全で

利便性に富んだ道路整備の推進」を目標に、通学道路を中心に歩道付き道路の整備や、地域の実情に即した道路整備を実施している。交通安全対策につきましては、歩道の設置等、道路整備計画時において、県の公安委員会と協議を行い交差点等の線形を決定し、交通安全通行を図ることに努めている。



早期完成が待たれる通学路の歩道整備

財産管理、危機管理、防災・減災対策、医療福祉対策について



盛 泰夫議員

財産管理について

質問 公有財産の管理処分及び和泊町公印規定についてどのように考えているか。

答弁 今回の、国頭字における町有地について公印が無断で使用され、分筆と建物の建築が行われたということは、公印の管理上はもちろんのこと、公有財産管理の上からもあってはならないことであり、深く反省し、お詫びを申し上げます。町としては、今回の事案を受け、公印取扱主任及び補助員の任命やその役割の明確化、各課における公印管理状況の把握など公印管理体制の充実強化と、職員の

公印に対する認識の強化を図った所です。



管理体制の充実強化を図る公印

危機管理について

質問 本町の総合的危機管理体制の整備を図るべきではないか。

答弁 国や県の危機管理政策との整合性を図りながら、風水害、地震災害、有害化学物質事故、重大な食品・飲料水等事故、感染症対策、武力攻撃等住民の生命や財

防災・減災対策について

質問1 新たな防災・減災の仕組みについてどう取り組むのか。

答弁 津波による被害予想地域がわかるハザードマップや沿岸部の低い地域に標高がわかる表示板の設置、避難所施設とわかる看板の設置等を行い、平素から町民の防災意識を高める取組を行い、いつ発生するかわからない災害に対応していくことと「自分の身は自分で守る」意識と「自分の地域は自分で守る」という意識を高める事で災害予防と減災に向けた取り組みの強化を図る。

産に重大な影響を及ぼす災害や事件等に対処するため、職員の危機管理意識の高揚特に日々の業務を通しての危機管理マニュアルの整備に努め、危機事象が発生した場合、即行動ができる体制の整備を図る。

質問2 役場庁舎建設の方向性についてどのように考えているか。

答弁 役場庁舎については、災害時の防災対策本部としての機能強化はもちろんのこと、住民の避難所や救急物資の保管場所、行政情報のデータバンクとしての働きも十分に備えたものではなくてはならないと考えています。来年度以降、外部委員を含めた庁舎建設検討委員会を設置して協議を進める中で、建設の時期、場所、財源、利便性等を総合的に判断し検討していく。



10月10日豪雨による浸水家屋の救援活動をする消防団員

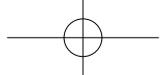
質問3 住宅リフォーム制度の導入について「検討」からどう具体化しているか。

答弁 耐震診断や耐震改修の実施については、現在、木造住宅の無料耐震診断を募集しているところですが、まだ募集戸数の5戸に達していない状況であり、引き続き町民の耐震化に対する普及啓発を行っていきます。なお、リフォーム助成制度の創設については、平成24年度から木造住宅の耐震診断・改修工事について実施したいと考えている。

医療・福祉対策について

質問 和泊町臓器移植術等旅費助成実施要項の見直しをすべきではないか。

答弁 活用状況、島内の医療機関で治療が困難な疾病を患う患者との公平性や他の市町村の状況を見ながら検討する。



公有財産・公印管理と  
過疎地域自立促進計画について



伊集院 徳二議員

公有財産と公印管理について

質問1 公有財産の管理は普通財産と行政財産に区分されるが、台帳整理を含めてどのような状況になっているか。

答弁 農業委員会で委託管理している「農地地図情報システム」を基に、登記簿上の地目表示の土地についての現地確認を行い、現況地目に修正する作業を行っているが、台帳整備にかかりの時間を要することから、公会計制度導入を目前に控え、財産台帳の整備を目的とした補正予算を上程し、それぞれの行政財産所管課が責任を共有し、相互に連

携を図りながら台帳整備を行っていく。

質問2 公有財産の無断売買に関して「和泊町長之印」が勝手に押印されているという告発事件が発生しているがどのようなことなのか。

答弁 昭和63年に町に寄贈された国頭字の町有地に、町の知らないところで建物が建設されたということで、住民からの届出を受けて、調査を行ったところ、寄贈者と町との間に交わされた覚書があり、その中には、町民の健康と福祉の増進を目的とすることや、売買、賃貸等が禁止されていました。町に事前の相談等がなされず無断で町長印が使用され、分筆登記をし、建物が建設されたことは誠に遺憾に思っている。また、町の公印の管理体制が充分でなかったことも一因であり、寄贈者の御遺族及び関

係者始め町民の皆様には心からお詫びを申し上げます。今後このような事態が二度と発生しないよう、職員の意識の高揚を図っていくとともに、法令に則った適正な事務の遂行に努めていく。

第5次総合振興計画に基づいた  
過疎地域自立促進計画について

質問 6月定例会で議決された過疎地域自立促進計画の平成24年度に向けた事業の取り組み状況はどうなっているか。

答弁 評価の結果を参考に、財政事情や社会情勢の変化、緊急性や町民ニーズの高さを総合的に勘案して、次年度以降の事業に反映するよう取り組んでいる。

産業間連携推進について

質問 平成22年10月25日、第1回和泊町産業間連携推進協議会が開催され、先進地視察等を行っているが、現在どのような状況になっ

ているか。

答弁 今後5年間を推進期間として、農商工等連携6次産業化といった取組みにより、新たな産業・雇用の創出、経済の活性化、地域の総合力向上に向けた取り組みを推進し、農商工等連携や6次産業化に向けた

取組みについては、JAや沖洲会など関係機関と連携を取りながら、組織力強化と産業間の情報共有、連携強化を図りやすい環境を整備するなど、計画の実現に向けて必要な支援を積極的に推進していく。



過疎地域自立促進計画で建替え予定の給食センター

# 平成 22 年度 全ての会計決算を認定

平成 23 年度の一般会計及び特別会計・水道事業会計は決算審査特別委員会に付託審査され、最終本会議で採決の結果全ての決算が認定されました。

## 一般会計

**歳入総額 6,369,260 千円**  
**歳出総額 6,119,784 千円**

単位：千円

区 分	平成 22 年度	
	決算額	対前年度比
町 税	564,976	- 8,139
地 方 譲 与 税	89,420	- 2,553
利 子 割 交 付 金	1,875	55
配 当 割 交 付 金	249	- 39
株式等譲渡所得割交付金	269	161
地方消費税交付金	61,199	- 106
自動車取得税交付金	13,001	- 2,267
地方特例交付金	19,184	6,346
地方交付税	3,268,300	160,010
交通安全対策特別交付金	1,786	42
分担金及び負担金	43,393	2,723
使用料及び手数料	106,855	15,634
国庫支出金	571,988	- 187,564
県 支 出 金	396,021	73,250
財 産 収 入	29,469	- 930
寄 附 金	13,499	4,695
繰 入 金	287,473	- 140,950
繰 越 金	223,310	- 218,479
諸 収 入	92,969	- 10,978
町 債	584,024	- 300,076
合 計	6,369,260	- 609,165

単位：千円

区 分	平成 22 年度	
	決算額	対前年度比
議 会 費	85,076	- 4,972
総 務 費	631,937	- 498,977
民 生 費	1,028,340	133,758
衛 生 費	522,862	- 21,412
農 林 水 産 業 費	541,693	- 187,599
商 工 費	78,240	37,150
土 木 費	703,469	- 299,361
消 防 費	128,828	- 11,112
教 育 費	618,103	105,523
災 害 復 旧 費	11,493	11,458
公 債 費	1,078,572	- 7,377
諸 支 出 金	691,171	107,591
合 計	6,119,784	- 635,330

## 特別会計

歳入総額 2,417,104 千円  
歳出総額 2,369,930 千円

単位：千円

会計別	歳入		歳出	
	決算額	対前年度比	決算額	対前年度比
国民健康保険	999,231	- 83,036	998,031	- 80,017
老人保健	1,173	- 16,223	1,173	- 15,217
介護保険	787,032	25,283	782,367	40,275
奨学資金	22,625	4,797	2,461	0
下水道事業	231,175	- 26,799	230,971	- 26,978
農業集落排水	280,532	6,339	280,517	29,857
伊延港ふ頭用地	25,982	- 4,277	6,381	0
後期高齢者医療	69,354	353	68,029	- 150
特別会計の計	2,417,104	- 93,563	2,369,930	- 52,230

## 水道事業会計

区分	総収益	総費用	純利益
水道事業会計	197,630	194,631	2,999

## 事業実施個所での事業説明を受ける委員

経済建設常任委員会



過疎道路整備事業伊延海岸線

総務文教常任委員会



うみがめビューポイント整備工事

# 先進事例に学ぶ!

## 経済建設委員所管事務調査について

当委員会の6月定例会後の所管事務調査についてご報告します。

宮古島市視察研修

日程 平成23年9月4日～9月7日

参加者

経済建設常任委員会

伊集院徳二、赤山俊彦、前田 力、福山峯之、谷山健一郎、永野利則、泉 秀樹

耕地課

上山富秀

白百合土地改良区

沖吉四郎、平山良市

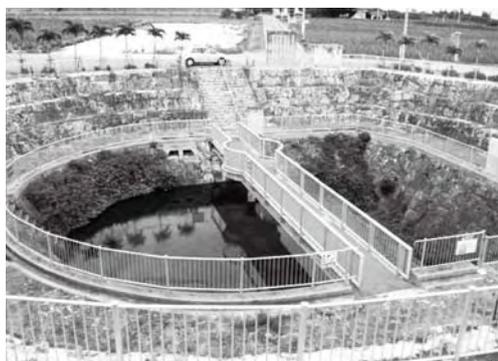
目的

平成25年3月末日に設立予定の国営土地改良区について、どのような問題点が設立までにあるのかどうか、先進地の研修のため

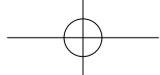
視察内容

### ①国営地下ダムについて

工事終了後どのような施設の委託事業があるのか。



地下ダム資料館



## ② 県営畑かんについて

地元町村の負担と受益者負担はどのようになっているのか、また、移動式畑かんと埋設型畑かんの事業費はどのようになっているのか。

## ③ 土地改良区の運営について

J Aを含めた外郭団体の補助金があるのか。

## ④ 特産品について

地元で付加価値を付けた加工品について。

以上4点について調査をして参りました。



### 高額で販売されているマンゴー

宮古島での国営土地改良区については昭和55年に事業推進協議会を発足させ、平成元年8月に宮古土地改良区の設立許可を受けています。協議会発足から8年もの期間を要しているとのことです。県営畑かんについては奄振と沖振では補助率の違いがあり沖縄県では9割の高率の補助率となっている。土地改良区の運営については市やJ Aを含めた外郭団体からの運営補助金も受けている。特産品については、地元で付加価値を付けたアロエベラの化粧品や果樹を加工したジュース、ゼリー商品など地元で研究開発された加工品が数多くあった。

今回の宮古島視察を振り返って国営土地改良区の設立には、問題点の共有を計り受益者の理解、協力を早急に得る協力体制を構築しなければならない。



### アロエベラを原料とした商品

# 第15回子ども議会

## 子ども議会あいさつ

城ヶ丘中学校 3年 川越 きり

わたしたち城ヶ丘中学校の3年生は、1学期の総合的な学習の授業で、和泊町の現状について調べました。調べているうちに、和泊町の抱える課題がいくつか見えてきたので、課題解決のために、わたしも何らかの形で関わりたいと思います、今回議長に立候補することにしました。

しかし、リハーサルするときこの議長席から周りを見下ろし、質問者と目を合わせていると、議長としての責任の重さを感じ、上手くいくのだろうかと不安を感じました。

また、本番ではどれだけの人がこの議場に入るのだろうかと思うと、緊張も感じるようになりました。今日、子ども議会の本番を迎え、予想通り緊張しましたが、この議長席からは色々なものがよく見えました。それぞれの学校の代表として、緊張しながら自分の出番を待っている質問者の皆さん。静かに事の成り行きを見守っている、両校からの見学者の皆さん。わたしたち中学生の質問に、丁寧に答えてくだ

(平成23年8月2日)

さった和泊町役場の方々。今日までサポートして下さった先生方。大人も子どもも一緒にになり、和泊町の将来を考えている姿をみたとき、議長を務める不安は無くなってきました。

今年、東日本大震災という大きな災害が起こり、大きなダメージを受けてしまいました。今日話し合われた内容を元にして、わたしたちの和泊町をもっと魅力ある町にし、再び日本が立ち直るための元気を発信していければと思います。今回は、中学生に町づくりについて考える貴重な機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。ごさいます。



今井 渚 (和泊中学校3年生) 「フラワー都市交流について提言する」



富岡翔子議員 (和泊中学校2年生) 「花の島「沖永良部」について提言する」



大野真子議員 (和泊中学校2年生) 「和泊町の災害避難場所について問う」



川越きり議長 (城ヶ丘中学校3年生) 「テキパキと会議進行する(あっぱれ!!)」



安田洋幸 (城ヶ丘中学校3年生) 「赤土流出対策について問う」



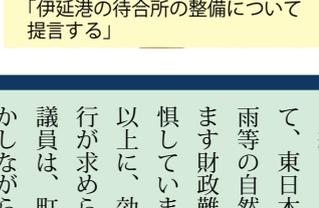
寺原葉月議員 (城ヶ丘中学校3年生) 「城ヶ丘校区における町営住宅の建設計画と少子化対策について提言する」



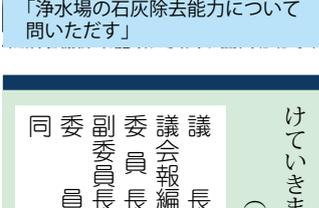
速水涼雅議員 (和泊中学校2年生) 「伊延港の待合所の整備について提言する」



竹下 遥議員 (城ヶ丘中学校3年生) 「浄水場の石灰除去能力について問う」



岩野寛議員 (和泊中学校2年生) 「和泊町の災害避難場所について問う」



谷山勇里亜議員 (城ヶ丘中学校3年生) 「町のバリアフリーは、どのように進められているか問う」



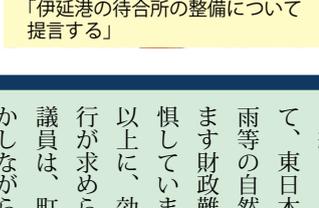
岩野寛議員 (和泊中学校2年生) 「和泊町の災害避難場所について問う」



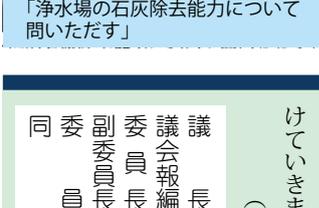
岩野寛議員 (和泊中学校2年生) 「和泊町の災害避難場所について問う」



谷山勇里亜議員 (城ヶ丘中学校3年生) 「町のバリアフリーは、どのように進められているか問う」



岩野寛議員 (和泊中学校2年生) 「和泊町の災害避難場所について問う」



谷山勇里亜議員 (城ヶ丘中学校3年生) 「町のバリアフリーは、どのように進められているか問う」

「伊延港の待合所の整備について提言する」

「浄水場の石灰除去能力について問う」

「和泊中学校のグラウンド整備について提言する」

「城ヶ丘校区における町営住宅の建設計画と少子化対策について提言する」

「花の島「沖永良部」について提言する」

「和泊町の災害避難場所について問う」

「赤土流出対策について問う」

「和泊町の災害避難場所について問う」

「和泊町の災害避難場所について問う」

## 編集後記

成23年第3回定例議会が、9月13日から28日まで開催されました。9月議会は、前年度において執行部が可決された予算の中で、どのような仕事をして、どれだけの成果を上げたのかを質す「決算審査特別委員会」がありました。課毎に各議員から多くの質問があり、その様子は「サンサンテレビ」で放送され多くの町民が視聴されたと思っております。国・地方自治体共に、財政的に厳しい年が続いています。それに加えて、東日本大震災・台風・大雨等の自然災害が続き、ますます財政難になるのではと危惧しています。今後は今まで以上に、効率の高い予算の執行が求められてきます。我々議員は、町民の声を聞き・活かしながら、執行部に働きかけていきます。

(文責 泉 秀樹)

- 議長 前田 力
- 議会報編集委員
- 委員長 永野 利則
- 副委員長 平 勝美
- 委員 山下 幸秀
- 委員 泉 秀樹